



医学部新入生の皆さんへ

医学部長 松本俊夫

この度は、徳島大学医学部入学おめでとうございます。

医学科、栄養学科、保健学科の何れの学科に入学した人も、卒業後は医療人として専門的な知識や医療技術を提供することを通じて社会に貢献するという、重い使命を負うこととなります。この医療人としての使命とは、健康な人達が病気にならないよう予防したり、病気に苦しむ患者さんの病気を診断・治療することによって病気から回復してもらうように支援することです。また新しい予防法や診断法・治療法などを研究し開発することも、この使命を全うする上での皆さんの将来の重要な選択肢の一つです。したがって、これからの学生生活を満喫して頂くと同時に、将来立派な医療人として社会に貢献できるよう、有意義な学生生活を送って下さることを期待しています。

蔵本地区では病院の再開発が進み、西病棟の建設が急ピッチで進行しており平成21年度には完成の予定です。これと平行して研究棟の改修が進められており、現在進行中の第3期工事が今年春に完成の後、直ちに第4期工事が開始され臨床研究棟西半分の改修に着手する予定です。同時に旧第5病棟も平成20年度中に改修し、大学院が新設され手狭になっている保健学科が使用する予定となっています。更に、西病棟の完成後には現在の第3病棟を改修し新たに生命科学総合実験研究棟として医・歯・薬学部から臨床系教室が入る計画です。改修計画が順調に進めば、既に改修が終了している栄養学科と併せ、皆さんが卒業するまでには蔵本地区の病院および医学部研究棟の殆どが新・改築されることとなります。これらが完成すると、皆さんの修学環境は飛躍的に改善されると思います。この様な環境の中で、勉学に課外活動に学生生活を最大限に満喫して頂きたいと思います。

自らの心や体の健康を守り快適で健康な学生生活を送ることは、卒業後に医療人として多くの人達が健康に過ごせるために生活指導をしたり、診断や治療を担うという使命を全うする上で特に大切です。大学受験の難関を突破し晴れて入学された皆さんが、健康で明るい大学生活を送って初めて、多くの人達の健康を守る医療人となれることとなります。これからの学生生活では、自分の健康を自分で守るよう努力してこそ、健康で実り多い大学生活が過ごせることとなります。また、新しい仲間や先輩・後輩との出会いを大切に、多くの友人と交わることもこれからの皆さん自身の人生設計に大きな影響を及ぼしてくれるものと思います。是非とも課外活動にも積極的に参加して、実り多い学生生活を過ごして頂きたいと思います。学生時代の思い出は、私たちの年代になっても心に残り、いつまでも多くのことを自分に教えてくれるものです。

最後に、自ら努力し学ぼうという意欲と、自らをより高めようとする向上心がなければ、例え立派な施設や充実したカリキュラムがあったとしても決して自分が成長できる糧とはなりません。大学入試を突破して入学された皆さんは、これで目標が達成された訳でも挑戦が終わった訳でもなく、やっと自分自身を高めることが出来るスタートラインに立ったに過ぎません。徳島大学医学部の一員となったこれからも出来るだけ高い目標を持ち、勉学に課外活動に思う存分自分の可能性に挑戦し、健康で実り多い学生生活を過ごしてこそ初めて卒業後に立派な医療人として社会に貢献することが出来ます。これからの大学生生活を最大限満喫しつつ、誇りを持って自らの目標に向かい悔いのない充実した学生生活を過ごして頂けるよう心より期待しています。



将来の自分への投資

医学科長 泉 啓介

在学中に大学院に進学する MD-PhD コースは別として入学した学生全員がストレートに医師国家試験合格まで行って欲しいと願うが、現実にはそうは行かない。早い時期に意欲を失ってしまう者も出てくる。教養部が存在した時代は医学進学課程 2 年、専門課程 4 年と分かれていて最初の 2 年間をかけて自分を成長させることができた。医師国家試験も難しくはなかったので専門課程の 4 年間も部活動やアルバイトに時間を割いても余裕を持って過ごすことができた。最近卒業時には医師としての最低限の技能を有していることが求められ、学習すべき内容が増え国試もずいぶん難しくなっている。臨床実習(クリニカルクラークシップ)に入る前には全国共用試験(CBTとOSCE)もクリアしなければならない。早い時期に意欲を失ってしまうと修正ができなくなってしまう。そういう意味で最初の 1 年間の過ごし方が大事である。本学では平成 19 年度からカリキュラムや評価の方法を変えている。教養教育(共通教育という)1年、専門教育5年とし、専門教育では平成 13 年度から始めたチュートリアル教育を縮小し、医学研究実習(研究室配属)と臨床教育の講義時間を増やしている。評価の方法も知識以外に医師になるための態度や技能を重視するように変えている。

病気の診断や治療の進歩は早く、学問分野によっては教科書

の内容がすぐに過去のものになってしまう。そういうこともあってか学生はボリュームがある教科書を読まずに済ますことが多く、安易にインターネットの情報に頼ることも多いようである。私の専門である病理学について言えば、定評がある英語の教科書以外は買う必要はないかつては講義の時に言っていた。これは正しくもあり間違いでもある。語学力を磨いたり、部活動で汗を流すのと同じように定評がある教科書を買って読むのも将来の自分に対する投資である。全国共用試験(米国のステップ1にあたる)と国試(ステップ2にあたる)の勉強は医師としての実力に繋がるものではない。生涯にわたり新しい知識を得続けることは医師の義務であるが学生時代はゆっくり時間をかけて故きを温ねることも大事である。



新入生の皆様へ

栄養学科長 宮本 賢一

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。栄養学科は創立 44 年を迎え、栄養学の大学院として日本で最初に設立された栄養学研究科を中心に学部と大学院が一体化し、日本の「食と健康」を支える優秀な人材を全国に輩出しております。また本学科は、医学部に設置された唯一の栄養学科として基礎医学、臨床医学、基礎栄養学、食品学および臨床栄養学を基盤にしたユニークな教育体制を構築しております。例を挙げれば、生活習慣病予防の為の食教育や各種疾患を深く理解する為に多くの授業が組まれています。管理栄養士の仕事は、従来、調理や給食を担うことがイメージされていましたが、欧米では、臨床医学の場で栄養マネジメントを行う専門家が活躍しています。例えば、がん患者の術前・術後の栄養アセスメントを正確に行い、科学的根拠に基づいた栄養ケアを処方し、医師に助言し、栄養・食事療法(点滴等も含む)を実践しています。他方、いわゆる健康食品

の有効性、安全性に関する情報を収集し、評価し、リスク・コミュニケーションのできる“専門栄養士”も必要とされています。さらに、外食産業、給食産業、食品会社等では、単に栄養管理ができるだけでなく、経営管理や安全管理のできる“専門栄養士”のニーズが非常に高くなっています。このような社会ニーズに対応できる管理栄養士を育成するには、医学と食品科学が単に接合した従来型の栄養学ではなく、医学、保健学、看護学、薬学、歯学、そして社会学、経営学等の学際的学術体系が必要とされております。それ故、栄養学科では教員が一丸となって、このような時代のニーズを満たす人材育成に取り組んでおります。幸いにも、蔵本キャンパスは、医学/歯学/薬学/保健学の各学部が集積し、充実した医療教育システムが整備されております。新入生全員が栄養学分野のリーダーを目指し、大きな志を抱き、この伝統ある栄養学科をさらに発展させてくれることを期待しております。



あいさつ

保健学科長 山野 修 司

皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は保健学科長の山野と申します。保健学科を代表して皆さんに保健学科の最近の動向と入学のお祝いを申し上げたいと思います。

最近の保健学科の動向として顕著なものは、本年3月にはじめて修士修了生を世に送り出したこと、およびこの4月からは大学院博士後期課程がはじまり、教員も大学院ヘルスバイオサイエンス研究部に組み込まれ、高度な保健学の教育と研究をおこなう体制が整ったということです。大学院博士後期課程の定員は5人と少ないのですが、臨床応用を志向し、健康増進と疾病の予防、医療、回復支援、及び生活支援に資する学問を推進、発展させることに意欲をもっている人、従来の学問の枠組みでは対応しきれない新しい医療に果敢に取り組む気概のある人を広く求め、将来各領域のリーダーを育成する所存です。また、この4月から養護教諭一種免許および専修免許を取得できる課程を開始しております。看護学専攻の学生は努力すれば、卒業時に看護師、保健師及び養護教諭一種免許の受験資格が得られるわけで、学生にとってのメリットは大きいと思います。

さて新入学生の皆さん方の多くは長くて苦しい受験勉強を経て、徳島大学に入学されたものと思います。入学直後の現在は安堵の方が大きく、「大学で何をやるのだろうか」と言うこと

に思いが至っていないのが現状ではないでしょうか。最近の報道では日本の大学生の平均勉強時間は1日1時間に満たないで、読書もほとんどされていないとのことで、嘆かわしい状況にあるといえます。大学でのみなさんの本分は学問をすることにあります。広辞苑によると「学問」とは「一定の原理に基づいて体系化された知識と方法」と説明されています。それぞれの分野の「体系化された知識と方法」を習い、覚えることもが学問の第一歩となります。しかし、最近「学問をする」という風な表現をする時は「それぞれの知識体系の中に潜むブラックボックスや矛盾に光をあて、新しい理論を構築することでその問題を解決するための営み」といった意味で使用され、研究機関としての大学ではこの意味での学問が重要視されています。大学に入学した後、皆さんには、まずそれぞれの分野の「体系化された知識と方法」をじっくりと勉強し、知識を自分の体内に蓄積することが大事だと思います。そして次の段階で「大学で何をしたいのか」をみつけ、設定した仮説を証明するためのアプローチの方法や解析方法をしっかりと考えることが重要です。このような知的なトレーニングを積み、将来皆さんの前にあらわれる難問の解決に備えることが学生の本分であり、皆さんの将来に役立つものと確信しております。皆さんの発奮を期待しております。



新入生の皆さんへ

前学生委員会委員長 西村 匡 司

新入生の皆様、入学おめでとうございます。

入学の栄冠を得られるまでの皆様の努力はさぞ大変だったことと推察します。大学に入学してからの生活に様々な希望を持っていることでしょう。受験から開放されて大学生活を大いに楽しもうと思っている方も多いのではないのでしょうか。これからの数年間を徳島大学で過ごしていくこととなりますが、特に蔵本キャンパスで過ごす皆様は将来、人の命に関わる職業に就くこととなります。このキャンパスで学び、得た知識・技術は何者にも変えがたい大切な財産となります。自分自身の財産であるばかりではなく、社会全体にとっても大きな財産です。この財産の価値をいかに高めるかは、皆様の自覚次第です。医療をとりまく環境は決してやさしいものではありません。しかし、医療に携わり、直接・間接に人の命に関わる職業につくことを誇れる素晴らしい医療人になる必要があります。そのため勉

学が蔵本キャンパスで過ごす年月の基本です。よき個人となり、よき医療人となり、よき社会人となることを念頭にこれからの大学生活を送ってください。

その上で勉学・課外活動などを通して一生続く人間関係を確立してください。大学時代に得た友人は皆様にとって、一生の財産です。大学時代とは、卒業後に続く社会人としての人生に直接影響する大切な時期です。専門的知識もさることながら、徳島大学が歴代積み重ねてきた文化を学び、物事に感動する心を培って下さい。そのためには、物事を全て損得で判断しないこと、そして美しい絵を見たり、音楽を聴いたり、専門書以外の本を読んだりして人間的教養を培うことです。それにより、知識そのものではなく、物事を正しく判断する見識が磨かれます。

皆様が充実した大学生活を送るとともに、徳島大学生としての誇りを身につけ、素晴らしい個人、医療人、社会人へと育っていけることを祈っています。

医学科



教員

入学おめでとう

顕微解剖学分野 樋田 一徳

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ようこそ、徳島大学医学部へ。

皆さんは今、医師、医学研究者としての自らの将来像を様々に思い描いていることでしょう。皆さんが入学した医学部は医師免許を取得するための学校ではありません。医学のみならず幅広い知識を修得し、様々な経験を通して豊かな人間性を自ら育む場です。そこで医学部入学に際し、以下3つをアドバイスします。

まず、他の人の立場になって考え、行動できる社会人をめざしましょう。皆さんが学園生活を送る蔵本キャンパスは同時に専門医療機関です。患者さん、ご家族、医療スタッフが、常に皆さんの身近で病と闘っていることを忘れないでください。そ

してその方々全てが皆さんの先生です。

次に、勉強の仕方を工夫しましょう。医学はこれまでの受験勉強とは質量共に異なります。また競争でもありません。友をつくり、一緒に勉強し、助け合うようにしてください。医学を一人で習得する事は不可能です。わからないことは私たち教員や先輩にわかるまで尋ねてください。

最後に、どんな時でも夢と希望を持ってください。思うようにいかないこともあるでしょう。でも解決を急がず、どんな時でも夢と希望を持つ限り前進しています。また困ったり悩んだりしたら、どうか遠慮なく私たち教職員や先輩友人に相談してください。

これから医学の道を共に歩むことができることを喜び、皆さんを心から歓迎します。



卒業生

新入生の皆さんへ

薬理学分野 山口 邦久

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。考えてみれば私も十数年前には、皆さん同様これから始まる大学生活に大きな期待を抱いて徳島大学の門をくぐったように思います。そこで皆さんに

大学生生活のアドバイスを、といろいろ考えてみましたが、結構以前のことで、その頃と今とではカリキュラムも随分変わりましたので、正直具体的なことは頭に浮かんで来ません。なので医師となった現在の立場から、一つだけこの場を借りて皆さんに伝えたいと思います。

皆さんは、医学を選択した理由、そして今後についてはっきりとしたビジョンを持っていますか？“Yes”と答えられた人はすばらしいです。でも私自身のことを思い出してみても入学時はまだぼんやりとしかつかめていなかったように思います。人生には様々な分岐点があります。些細なものもあれば、その先人生に大きく関わってくるものもあります。大学進学もその一

つです。私たちはその都度、なんらかの決断をしなくてはならないのですが、その選択にはっきりとした目的や目標を見出し、自信を持って突き進むことは非常に難しいことです。

でもその時点ではぼんやりでも良いと私は思うのです。常に自分自身を見つめてゆくことで、物事の“真の目標”は後からついてくることも意外と多いんじゃないかなとも思います。大学生活は、医学の基礎、最新知識を身に付けると同時に、自分の将来における“真の目標”をしっかりと創り上げてゆく期間でもあるのです。

医療をとりまく状況は、ここ近年目まぐるしく変わっています。それだけに知識はもちろんですが、皆さん個々の医療に対する“真の目標”の確立が、今後は特に大事になってゆくと思います。しっかりと学び、もちろんしっかりと遊び、そしてしっかりと自分自身を常に見つめなおして、これから始まる大学生活を有意義なものにしてほしいと思います。



在校生

新入生の皆さんへ

医学科4年 行本 敦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。晴れて無事徳島大学に入学を果たし、どのような大学生活を送ろうかと考えている新入生の方々も多いと思います。大学生活は自由な時間が豊富にあります。学業、部活、バイト、趣味等々、自分の打ち込めるものを見つけて下さい。学業は勿論、それ以外のどんな事でもこれからの人生の貴重な財産となるはずです。色々な活動の中で出会う先輩や同級生、地域の人々からできるだけ多くのことを学んでください。色々な考え方を知り、自分の世界を広げることができると思います。

僕自身は部活とバイト、交友関係を通して、それまで勉強していただけでは学べなかったことをこの三年間で知ることが出来たと思っています。

大学の講義ではとても多くの内容が扱われます。試験も多く

のことが問われます。しかし、大学入試時の様にそれらについて試験の時点で完璧に答えなければならないということは無いと感じています（勿論、答えられるにこしたことはありませんが）。それよりも、分からないことに対して疑問を持ち続ける姿勢が大切だと思います。また、勉強だけに限らず、大学生活で大切なことは目的意識を持って行動することだと思います。次々と入ってくる情報を、ただ暗記しているだけでは大学生活を楽しむことはできません。

講義だけではなく実習の時間が多いのも医学部の特徴です。紙の上で学んだことを実際に手を動かし、自分の目で見て確認するということはとても貴重な体験です。

将来どのような人間になりたいか、その目標に向かって何をすべきかを考え、皆さんが充実した大学生活を送ることを心から願っています。

栄養学科



教員

新入生の皆さんへ

新入生（第45期）の皆様、ご入学おめでとうございます。大学入試を乗り越え、これから始まる大学生活に希望と期待をふくらませていることと思います。

栄養学科は我が国の栄養界をリードする管理栄養士、臨床の場で高度な知識とアイデアで医師と連携して活躍する管理栄養士の養成とともに、栄養学の基礎的研究、教育を担う研究者・教育者を育てる高等教育・研究機関であります。徳島大学栄養学科はこれまでに多くの管理栄養士、栄養学研究者または教育者を輩出している伝統ある学科であり、世の中の多様なニーズに対応できる人材の育成にますます期待が寄せられています。学部教育では、医学、栄養学の基礎からはじまり実習を通して理論や実践、臨床への応用について幅広く学べるカリキュラムになっていますので、しっかり勉強して下さい。また、4年生になると、校外施設（保健所、学校、給食

臨床栄養学分野 山本浩範

施設)で、実際に実地研修を行い、各講室内で実験や調査による卒業研究を行うことにより解決すべき栄養学の課題に取り組めます。さらに栄養学科の良いところは、栄養学連として阿波踊りに参加するなど色々な年行事も大切にしておりアットホームな環境でオリジナリティーある栄養学の教育と研究が行われていることだと思います。

大学生生活についての私からのアドバイスとしては、勉強だけでなくクラブ活動やアルバイト、旅行など学科、学部あるいは大学を超えて多くの人と出会い、交流をすることをお勧めします。忙しい忙しいと理由ばかりでは何も出来ません。これから楽しい事ばかりでなく苦しい事もたくさんあると思いますが、失敗を恐れないで色々な事にチャレンジして自分を成長させていきたいと思っています。大学4年間は長いようですが、あっという間に過ぎてしまいます。悔いのないように思いっきり大学生活を楽しんでいただきたいと思っています。



卒業生

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活には、専門的な知識を身に付けるだけでなく、人間として成長できる機会がたくさんあると思います。しかし、そのような意味

での『学ぶ機会』というのは、皆に平等に与えられるものではありません。自分で掴みに行かなければなかなか手に入るものではないと思います。躊躇せず様々なことに挑戦してみてください。全ての経験に無駄なことなどはありません。挑戦して失敗したことで、自分の力量を知るいい機会になるでしょう。自ら挑戦することは意外にエネルギーを使うかもしれませんが、

栄養生命科学教育部 博士前期課程2年 田村 斉子

苦労は買ってでもした方がよいと思います。後から振り返ると全て良い思い出になると思います。

とは言え、そういう私自身、これまでの学生生活を振り返ると大変怠け者で、腰が重くて、逃したチャンスは数知れずあります。今、後悔まではしていませんが、非常にもったいなかったと思っています。だからこそ、皆さんには一つでも多くのチャンスをもたせたいと思います。

皆さんが、よく学び、よく遊び、充実した大学生活を送られることを願っています。皆さんは大学1年生ですが、私は社会人1年生になります。同じ1年生として、新しい環境でお互い頑張りましょう。



在校生

日々の出会いを大切に

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験から解放され、これから始まる大学生活への期待と不安が入り混じった気持ちでこの春を迎えたのではないのでしょうか。大学では、新しい仲間との興味深い出会いがたくさん待っています。今まで知らなかった世界に触れ、心躍らせる機会も数多くあるでしょう。しかし、

楽しいことの反面、ときに厳しい現実にもぶつかり、挫折を味わうこともあるかもしれません。そんな時は、周囲の人々や友人を頼ってください。私自身も、かけがえのない友人達に恵まれ、この4年間多くの場面で支えてもらいました。自分ひとりの力では乗り越えられないことも、仲間と助け合うことで新たな解決法が見つかるものです。日々の出会いを大切に過ごしてください。

さて、最近ではますます栄養士・管理栄養士への社会的ニーズが高まってきています。専門科目だけではなく、教養科目もしっかりと身につけ、常に自ら学ぶ姿勢を持ってください。

栄養学科4年 遠藤里栄

自分自身の手で、足で、さまざまな知識や技術を獲得していくことが大切だと日々感じています。そうすれば自然に視野が広がり、自分の内面も豊かになるはずですが、自分から足を一步踏み出し、この大学生活の中で、人だけにとどまらず、趣味や考え方なども含めたくさんの「出会い」を経験してください。何かに出会うチャンスはいつも皆さんの前にあります。皆さんの大学生活が充実した実りあるものとなるよう、心からお祈りしています。



保健学科



教員

夢を叶えて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはそれぞれに夢を持って、この徳島大学に入学されたことと思います。私もウン十年前に、皆さんと同じように徳島大学へ入学した一人です。入学時の私は、外科医として開業している叔父の影響を受け、臨床医という夢を持っていたのですが、現在は病理医（この単語を知らない人は、私の授業を受けてください）で、教育研究職に就いています。

もっと以前、私が職業を意識した最初は幼稚園のバス遠足の時です。幼稚園の先生の話は時に退屈でしたが、バスガイドのお姉さんが説明するバスの窓から見える景色を眺めているうちに、目的地までの時間があっという間に過ぎていきました。お姉さんの話は、単に見えるものの説明だけでなく、それに絡んだ歴史の話や歌を織り交ぜており、こんなことまで知っている、

形態系検査学講座 香川典子

楽しい、すごいなあと感じたのです。今から思えば、あの時のバスガイドさんが勉強した案内説明書の著者が地理だけでなく、歴史・文学・芸術など様々な分野に造詣が深かったのですが、当時の私はバスガイドに憧れをいだきました。

さて、今の私ははじめに述べたような仕事をしています。大講義室でマイク片手に、スライド映写しながら、「心臓の表面がザラザラしているように見えます（線維索性心外膜炎）」「肝臓のここに暗赤色の塊が見えます（肝臓の血管腫）」などと説明している私は、歌こそ歌いませんが、まるでバスガイドと同じです。でも、ふと見ると、バスの中で（講義中）居眠りするお客（学生）さんがいるところまで、私の夢は叶ってしまいました。

皆さんの夢が叶いますよう、祈っています。



卒業生

新入生の皆さんへ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

皆様にはこれまでの学生生活とは大きく異なった、自由な大学生活が始まります。きっと、これから始まる生活に期待と不安を多く抱えているでしょう。大学生活では自分が主体となって行動することが大切になってきます。学業においては高校の時のように受け身の姿勢ではなく、自分が疑問に思ったことと興味を持ったことを積極的に自分で調べることが重要になります。

そして、大学の授業では学べないこともたくさんあります。部活やサークル、アルバイト、遊びでは社会に出ていくための貴重な体験が多くできるでしょう。大学生活には自分のやりたいことをできる自由な時間がたくさんあります。様々なことに

大学院保健科学教育部2年 川村垂以

挑戦して下さい。時には途中でくじけそうになったり、やめたくなることもあると思います。しかし、やりがいや達成感もきくと感じることができるでしょう。その度に人として成長していくことができると思います。

また、保健学科に入学された皆様は将来医療者として医療の現場で活躍されることだと思います。医療の現場では人と接することが重要になります。自分と境遇の異なった人と接することもあります。その時に相手の立場に立って物事を考え行動することができるかは、その人の人間性が大きく関係します。大学生活の中でたくさんの人と出会い、接し、人を大切にすることで人を思いやることができるという人間性が高められると思います。

卒業する時に、充実した4年間だったと思えるように有意義な大学生活を送ってください。



在校生

新入生のみなさんへ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大変だった受験勉強を終え、いよいよ待ちに待った大学生活が始まりますね。

大学では、今までと違い自由な時間が大幅に増えます。この自由な時間をどうするかはみなさんの勝手ですが、わたしは積極的に使ってほしいと思います。何でもいいのです、勉強、部活、アルバイト、遊び、恋愛、時間の許す限りいろいろなことにチャレンジしてください。これからの大学生活を有意義に過ごせるかどうかは、みなさんの時間の使い方にかかっていると思います。

また、大学ではたくさんの出会いがあります。クラスメイトや部活の先輩などの学内での出会いはもちろんのこと、バイト先などの学外での出会いもあります。また、人との出会いに限らず、学問や書物、もしかしたらスポーツや芸術、音楽との出

保健学科放射線技術科学専攻4年 岩下昌平

会いもあるかもしれません。それらの出会いを大切にしてください。きっとすばらしい出会いが待っていることでしょう。数ある出会いの中で人生の「友達」にめぐり合えるかもしれませんよ。また、人は出会いによって教えられ、成長していくものだと思います。わたしは出会いから学ぶことはとても大切なことだと考えます。わたしもたくさんの出会いから人間関係の大切さなどいろいろなことを学びました。将来、医療に携わる人間にとって良い人間関係を築けるということはチーム医療の観点からも非常に重要なことだと思います。ですから、みなさんも是非、出会いを大切に、そこからより良い人間関係を築けるような感性を養ってもらえたらと思います。

大学生活はあっという間に過ぎ去ってしまいます。一日一日を大切に、卒業するときに悔いの残らないような大学生活を送ってほしいです。

先輩からの医学部紹介！

医学科4年
武知克弥

大学院栄養生命科学教育部
博士前期課程1年
西山 俊

保健学科4年
吉田亜弓

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
これから始まる大学生活を多めに満喫し、充実したものにしていただきたいと思います。
大学入学を期に、一人暮らしを始められる方も多いと思いますが、戸惑うことも多く、
どうしたらいいかわからないことも多いと思います。
そこで、ここでは大学生活において、困ったときや、こんな時はどうしたらいいの？
ということについて簡単に説明したいと思います。

学務課

学務課について紹介します。学務課は医学科棟の1階、くらの正面に位置しています。

学務課と聞くと、私たちに馴染みがなく、あまり関係がないのではと考えてしまいがちですが、実は私たちの大学生活で様々な場面でお世話になるところです。そこで数多くの業務の中でも、私たちの身近なことに関して一部紹介したいと思います。

まず、授業や試験などに関することがあります。学部・学科にもよりますが、試験日の調整など、準備については学務課の方が行ってくれています。また前期や後期の初めに必ず行う、授業の履修届けについても不明な点があれば、学務課の方に尋ねてみてください。蔵本キャンパスの学生の皆さんは、ほとんどが将来医療従事者となるための国家試験があります。履修漏れなどで受験資格が得られなくなってしまうは大変ですので、少しでも気がかりなことがあれば、学務課の方に確認しましょう。

奨学金や授業料免除などの申請に関することも行われており、書類の申請や提出も学務課で行います。また、成績証明書や在学証明書、学割が必要な場合は学務課前に設置してある自動発行機で発行できます。将来、大学院へ進学する人も多いでしょうが、大学院試験に関することも学務課で行われています。

大学生活を送るにあたって、勉強や生活、クラブ活動のことなど何か困ったことがあれば学務課の方に相談しましょう。



学 務 課

大学生協

生協とは、簡単に言えば大学のコンビニみたいなもので、学生生活の中の様々な場面でお世話になると思います。新入生の皆さんが、入学後まずお世話になるのは、教科書の購入ではないでしょうか？大学では多くの講義があり、それらに応じて教科書、参考書が必要になりますが、一冊一冊自分で探して購入するのはとても大変です。生協では、新学期に学部、学科ごとに必要な教科書、参考書をセットにして販売しているので、これを購入すれば間違ってもありませんし、生協組合員であれば10%引きで購入できます。

また、運転免許を取得される方も多いと思いますが、生協で教習所の申し込みをすると、面倒な手続きも要らず、さらに商品券がもらえてとてもお得です。比較的時間に余裕のある一年次に取得されることを是非お奨めします。

大学ではパソコンが必須のアイテムです。レポートの作成や実験データの解析、インターネットでの情報検索といった様々な場面でパソコンを利用します。しかし、どのパソコンを選んだらいいの？どんなソフトが必要なの？と迷ったときには、生協パソコンを購入することもできます。必要なソフトが一通り入っており、なおかつパソコン講習会や、細かいサポートも付いているので、初心者の方でも安心して使えるようになります。インターネットの申し込みも生協でできます。

その他にも、旅行の手配(バス、航空機チケット)や書籍、DVD、CD、家具の購入もできます。お弁当、パン、飲み物も売っていますし、文具、白衣、雑誌なども生協で購入することができます。生協を十分に活用し、充実した学生生活を送ってください。



生 協



生協売店



生協書籍部



くらら

学生相談室

学生生活の中では、様々な悩みもあると思います。成績、進路、バイト、人間関係、etc…。そんなとき、あなたならどうしますか？友人、先輩、両親、先生などに相談するのも良いですが、どうしても知人には話せない、解決しないようなときには、学生相談室にカウンセラーの方に相談してみてもはどうでしょうか。皆さんの悩みについて専門の相談員、カウンセラーの方が真剣にサポートしてくれます。上記のような相談だけでなく、悪質商法などの法律相談、セクシャル・アカデミックハラスメントなどの人権問題、友人や親などに相談しにくい心理的問題など、学生の皆さんが学生生活を送る上で出会うすべてのことが相談できます。秘密は全て厳守されるので、一人で悩まず、気軽に相談してみてください。

利用時間は火曜日の13:30～17:30となっています。これ以外の時間帯は、学生相談室の隣にある蔵本保健室にて受付が行われています。予約をすれば、火曜日以外でも相談可能です。予約は常三島学生相談室へ電話又はメールで申し込んでください。

電話番号：088-633-9298（蔵本学生相談室）

088-656-7637（常三島学生相談室）

e-mail: gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp（常三島学生相談室）

蔵本保健室

蔵本会館（生協がある建物）の2階にあります。看護師による健康相談、応急処置、風邪薬、胃腸薬等の投与とケガの処置、体調不良時の休養などを受けることができ、体脂肪、血圧計、視力計等の健診機器が利用できます。利用時間は、月曜から金曜までの13:00～17:00となっています。体調が悪い時は、気軽に利用してください。

電話番号：088-633-7591

e-mail: syokoyama@jim.tokushima-u.ac.jp



保健室

学生食堂

蔵本会館の1階奥にあります。学生に安くて栄養を考慮した食事を提供してくれます。席は340席があり、定食、丼もの、麺類、野菜パーなど豊富なメニューの中からお手ごろな値段で食べることができます。セルフサービス方式で気軽に利用することができます。また予算に応じたパーティーなども行えます。利用時間は8:15～19:00となっています。



学生食堂

蔵 本 祭

『KURAs h!! -カベ・ヲ・ブチャブレー』

第23回蔵本祭実行委員長 医学科4年 一瀬 良 英

第23回蔵本祭では、これまでの蔵本祭という壁、学部間の壁、地域との壁など様々な壁をぶち破るという思いをテーマ「KURAs h!! -カベ・ヲ・ブチャブレー」に込め、改革や新企画など、実に様々なことに挑戦しました。蔵本祭を成功させる過程では、予想し得なかった多くの壁に直面し一つのことを成し遂げる難しさを痛感しました。しかし、互いに知恵を振り絞り協力し合うことで、それらの壁をぶち破ることが出来ました。蔵本祭自体は3日間でしたが、貴重な経験は蔵本祭開催までの影に隠れた部分にもぎっしり詰まっていたと思います。蔵本祭で得た経験を基に、蔵本生はこれからも思い込みの常識や限界など小さな枠に納まることなく、未知の領域へどんどん挑戦し、壁にぶち当たれば体当たりで正面突破して行って欲しいと願います。

最後になりましたが、蔵本祭開催にあたりご協力下さいました先生方・関係者の皆様方にこの場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。



『模擬病院を通じて』

第23回蔵本祭模擬病院委員長 看護学専攻2年 吉崎 恵 美

保健学科では、健康診断を模擬とする「模擬病院」を実施しました。例年と同様に身長や体重、視力や聴力、血圧などの身



体測定を来訪者の希望に応じて測定しました。各測定の説明や値に関することも私たちの学んだ範囲で説明させていただきました。また今年も、心肺蘇生法の模擬や展示も実施し、希望者には、心臓マッサージやAEDの体験をしていただきました。普段、体験することのできない心肺蘇生法やAEDは多くの方に興味や関心を持っていただき、好評でした。いつ、どこで緊急の場に居合わせるかもしれないので、今回のことを思い出し、少しでも多くの方に実施しようとする気持ちを持っていただくと嬉しく思います。今回の模擬病院では他学年の学生の協力も得ることができ、たくさんの学生が地域の方々や生徒と交流できる良い機会にもなりました。模擬病院を実施することができ、良い経験になりました。今回、ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

『栄養学科の名の下に』

第23回蔵本祭栄養展委員長 栄養学科3年 大南 博 和

今回栄養展を任されることになり、学祭を盛り上げる側の責任感と同時に栄養学科生として下手なものではできないなというプレッシャーを感じました。しかし、私たちが普段学んでいることを発表できるということで、私自身よい緊張感の中、楽しんで取り組むことができました。私のほかに同学科の2、3年生の皆さんに栄養展委員として協力していただきました。委員長、副委員長はもちろんのことなのですが、他のみんなもやらされているというのではなく、積極的に取り組んでくれたことに、嬉しくまた頼もしく感じました。その結果、栄養展の看板企画でもある食堂も、大変好評をいただきました。

もちろん大変なこともありましたが、終わったあとに残るのは楽しさと大きな達成感です。適当な言葉が見つからないのですが、栄養学科としての意識を個人としても全体としても実感することができ、みんなが同じ気持ちで、一つのことをつくりあ

げることのすばらしさを感じさせてもらいました。

最後になりましたが、栄養展委員の皆さん、そして今回栄養展を開催するにあたり、多大のご協力をいただいた先生方には大変感謝しております。ありがとうございました。



第54回徳島大学解剖体慰霊祭

学務課長 西野泰正

平成19年10月16日(火)15:00から大塚講堂において、第54回徳島大学解剖体慰霊祭が開催され、関係者約450人が参加しました。

献体者の霊に黙祷を捧げた後、医学部長・歯学部長をはじめとする関係者が追悼の辞を述べ、その後ご来賓、白菊会会員、教職員及び学生全員が白菊を献花し、系統解剖・病理解剖のために献体して下さった方々の亡き御霊5564柱の御冥福をお祈りしました。

本年は映画「眉山」が上映されたこともあり、ますます献体への理解が深まってきており、これからも献体に対してのご理解・ご協力が絶えないことを祈っています。



徳島医学会報告

機能解剖学分野 福井義浩
消化器・移植外科学分野 島田光生

第236回徳島医学会が2月10日(日曜)に長井記念ホールで開催された。午前にはシンポジウム「基礎医学研究の活性化を目指して」、午後には公開シンポジウム「ドナーアクションの必要性～なぜ海外移植しか助かる道はないのか～」、香美祥二教授には教授就任講演として「小児の慢性腎臓病(CKD)の病態と治療戦略」の講演をいただいた。

シンポジウム「基礎医学研究の活性化を目指して」では、藤木通弘先生、坂口末廣先生、馬原文彦先生、谷憲治先生に発表いただいた。医師の絶対数が少ないところへ新しい臨床研修制度が発足したため医師不足が顕在化した。このような状況下で基礎医学研究を行う医師数も大きく減少している。しかし、つまるところ医学研究には「夢」や「知的好奇心」を持つことが重要である。疾患酵素学研究センターの坂口末廣先生が述べられたように、夢または願望があってはじめて、人は何かに向かって動き始める。若手研究者を育成するためには夢を見させることが重要であり、そのためには指導者自身が熱い夢を語り「夢」を持ち続けることが重要だとの指摘であった。若手研究者との日々の交流、地道な指導が重要だと再確認した次第である。

公開シンポジウムでは、最初に徳島県・飯泉嘉門知事より、我が国でなかなか進まない臓器提供を我々徳島県から変えていく、すなわち「オンリーワン」から「ナンバーワン徳島」を目指しましょうという趣旨のご挨拶を頂いた。臓器移植法が施行

されて10年経過しているが、徳島県からは脳死ドナーが出ていない状況である。県民の半数以上が脳死臓器提供に前向きな現状を考えると、医療側からのドナーアクションが不足していると考えられる。シンポジストからは「ドナーアクションの実際」、「全国と徳島での臓器提供の現状」、「角膜輸入の現状」、「ドナーサイドから」、「米国の現状」、「脳死臓器提供者の家族と家族支援の実際」、「海外渡航心臓移植を経験して」等の発表があった。総合討論では、「医療側のドナーアクションに於ける熱意が、臓器移植でしか助からない命を助け得る」という意見で一致した。



医学部行事予定 (平成20年4月～平成20年9月)

4月2日(水) 学生定期健康診断医学部1年生
4月3日(木)、4日(金)
医学部新入生学科別オリエンテーション
(医学科、栄養学科、保健学科)
医学科第2年次オリエンテーション(13:30～)
4月5日(土) 医学部新入生研修(於:長井記念ホール)
4月7日(月) 徳島大学入学式、医学部共通新入生オリエンテーション(13:30～長井記念ホール)
医学部授業開始
4月8日(火) 新入生授業開始

4月21、22、23日

学生定期健康診断
医学科・栄養学科2年生以上

4月24、28日 学生定期健康診断

保健学科2年生以上

7月下旬 西日本医科体育大会(8月中旬)

8月初旬 徳島大学オープンキャンパス(学部説明会)

午前:栄養学科、午後:保健学科

医学部保健学科看護学専攻体験入学

徳島大学オープンキャンパス(学部説明会)

午前:医学科

*例年、8月第一週目の木、金に実施しています。

写真で見る
医学部

第3期改修工事について

組織運営関係担当医学部長補佐 玉置俊晃

医学部の改修は順調に進んでおり、平成19年度は第3期改修に入りました。今回の改修では、基礎医学研究B棟と基礎第一および第二講義室の耐震工事と改修を行っております。今回の基礎医学研究B棟の改修では、チュートリアル室が12室、中講義室が2室、および病理・組織実習室を兼ねたコンピューター室などの教育施設が設置され、徳島大学の教育環境が充実されることが特徴です。特に、100名を収容できるコンピューター室の設置は、久しく望まれていた施設です。医学・医療の国際化や電子カルテの普及により、医学生がIT関連知識や技術を習得することが不可欠になっています。また、全国的な医学教育改革により、医学生が病院での臨床実習に入る前に全国統一共用試験を行うことが決定され、3回のトライアルを経て平成17年より正式実施されています。この試験は、CBT（Computer Based Testing）と呼ばれて、コンピューターを使用して行うものです。徳島大学では、旧来の講義室の一部や附属病院内の施設を利用してコンピューターを利用した教育を実施してきましたが、一度に100名が利用できるコンピューター室が確保出来ていませんでした。このため学生2名に1台または2回に分けて教育・CBTを行っており、学生に迷惑をかけるだけでなく教員や事務方には2倍の負担をかけていました。今回、コンピューター室を設置することで、学生に対して快適で機能

的な環境でコンピューターを利用した教育を提供出来るものと確信しています。さらに、改修部分での無線LAN環境の整備も行われ、医学部講義室およびその周辺では学生は何時でもインターネットに接続が可能になります。第1基礎講義室は、玄関部分を取り込みかなり広くなり、学生にゆとりを持った学習スペースを提供できる計画になっています。このように、医学・医療の進歩に対応出来る教育環境の整備が特徴の第3期改修工事も、まもなく完成します。



学遊村 明日に向かって撃て

食品機能学分野 寺尾純二

人に語るべきことを学生の頃はなにもしなかった。

1969年4月、入学した大学のキャンパスは騒然としていた。パリスト封鎖が続き、授業が始まる気配は全くなかった。そこで、当分勉強はしないことに決めた。受験勉強には全くうんざりしていた。部活には勧誘されたが、億劫だった。金はなく、有り余る時間をもてあました。学内・学外の集会やデモに参加した。そういう時代だった。しかし、気分が高揚することはなかった。当時の軟弱学生をさして「立てばバチンコ、座ればマージャン、歩く姿は……」といわれたが、全くそのとおりだった。しかし博才はなかった。阿佐田哲也には憧れたが、「坊や哲」にはなれなかった。

映画を観た。「イージーライダー」の悲しいラストシーンは理解できなかったが、「風間重吉」の心意気には惹かれた。本を読んだ。世界の名著といわれるものを手に取ったがさっぱりわからなかった。「竜馬が行く」には刺激されたが、時代は幕末ではなかった。矢吹丈と丹下段平が渡った「泪橋」がどこにあるのかわからなかった。「江夏-田淵」の黄金バッテリーを擁しながら、阪神はどうしても巨人に勝てなかった。昭和の名横綱が期待された「玉の島」改め三代目玉の海はあっけなく逝った。三冠確実といわれた「タニノムーティエ」は喉鳴で馬群に消えた。

寝袋をかついで旅をした。〇〇駅構内で寝ているとしつこく「職務質問」された。家出少年に間違われていた。久しぶりに銭湯につかると、その間に財布を盗まれてしまった。いろいろ

なアルバイトをした。なかでも中華料理店のバイトは長続きした。職人のチーフがひとり、あとの従業員は全てアルバイト学生という不思議な店だった。腹をすかせて金のない学生が市内の各大学から集まっていた。「なんで学生が街で暴れんねん、学生はわしらの分まで勉強せないかんのとちゃうか？」というのがチーフのおっちゃんの口癖だった。確かにそのとおりだった。

最後の学年は中古の「カブ」で店から大学の実験室に通い、卒業論文作成のための実験にあけくれた。与えられた研究テーマはアミラーゼの反応速度論に関するものだった。基質濃度を変えては反応を繰り返し行い、ペンレコーダーに現れる曲線から三角定規で傾きをもとめるという単調な作業であった。しかし、結果を明快に説明できることが面白く、没頭するようになった。ようやく、次にやるべきことは何かを掴んだような気がした。実は大学院に進んでも、「立てばパチ……」の軟弱生活は続くのではあるが。



家出少年に間違えられていた頃

学友会活動

平成 19 年度

●●● 運動部 ●●●

●●● 文化部 ●●●

	クラブ名	部長		クラブ名	部長
1	硬式野球部	中西 秀樹	11	硬式庭球部	福井 清
2	ソフトテニス部	武田 英二	12	バドミントン部	土井 俊夫
3	ラグビー部	中西 秀樹	13	サッカー部	荒瀬 誠治
4	卓球部	香美 祥二	14	バレーボール部	佐野 壽昭
5	柔道部	永廣 信治	15	バスケットボール部	泉 啓介
6	弓道部	石村 和敬	16	空手道部	丹黒 章
7	剣道部	安井 夏生	17	陸上競技部	福井 清
8	準硬式野球部	島田 光生	18	ゴルフ部	曾根 三郎
9	合気道部	上野 淳二	19	フットサル部	阪間 稔
10	水泳部	中屋 豊			

	クラブ名	部長
1	軽音楽部	中西 秀樹
2	外国語研究会	塩田 洋
3	栄養学研究部	伊勢岡義充
4	茶道部	中堀 豊
5	室内楽同好会	大下 修造
6	書道部	福井 清
7	手話サークル	香川 典子

※平成 20 年度の各クラブの学生責任者は未定ですので、入部等の問い合わせについては、学務課（学生指導担当：☎ 633 - 7030）へ連絡してください。

数字で見る医学部

～平成 20 年 3 月卒業者の進路状況～

医学科・栄養学科 H 20.2 現在
保健学科 H 20.2 現在

医 学 科	
進 路 先	合計
徳島大学医学部・歯学部附属病院	11
徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部	1
京都大学医学部附属病院	2
大阪大学医学部附属病院	1
大阪市立大学附属病院	1
筑波大学医学部附属病院	1
東京女子医科大学東医療センター	2
東京医科歯科大学附属病院	1
徳島県立中央病院	6
徳島市民病院	9
健康保険鳴門病院	5
徳島赤十字病院	5
高松赤十字病院	4
高知赤十字病院	2
高知病院	1
仙台医療センター	1
坂出回生病院	1
香川小児病院	1
香川県立中央病院	1
川崎病院	1
住友病院	1
十全総合病院	1
神戸掖済会病院	1
千葉医療センター	1
市立豊中病院	1
洛和会首羽病院	1
箕面市立病院	1
高松市民病院	1
藤沢市民病院	1
姫路医療センター	1
兵庫県立尼崎病院	1
兵庫県立西宮病院	1
県立西宮病院	1
大阪医療センター	2
大阪南医療センター	1
淀川キリスト教病院	1
高槻日赤病院	1
耳原総合病院	1
総合病院国保旭中央病院	1
吹田市民病院	2
岡山中央病院	1
岡山市立市民病院	1
倉敷成人病センター	1
ペラルンド総合病院	1
J A 尾道総合病院	1
徳山中央病院	1
岡山済生会病院	1
聖隷浜松病院	1

甲南病院	
進 路 先	合計
中部徳洲会病院	1
済生会中津病院	1
関西電力病院	1
浦添総合病院	1
災害医療センター	1
さいたま赤十字病院	1
小 計	94
未定	1
小 計	1
合 計	95

栄 養 学 科	
進 路 先	合計
株式会社 大塚食品	1
株式会社イーサポートリンク	1
東京海上日動火災保険株式会社	1
株式会社 ゼンショー	1
マルタマフーズ株式会社	1
倉敷成人病センター	1
真如苑	1
佐久総合病院	1
株式会社 阿波銀行	1
聖隷福祉事業団	1
富士ソフト株式会社	1
社会保険栗林病院	1
川島病院	1
ホウエツ病院	1
シンセイフードサービス株式会社	1
株式会社ユナイテッドアローズ	1
倚山会 田岡病院	1
社会福祉法人昌和福祉会 千田保育所	1
株式会社シェイプアップハウス	1
国立大学法人 徳島大学	1
中洲八木病院	1
ソフトウェアサービスKK	1
国立病院機構九州ブロック内病院	1
小 計	23
大学院進学	
徳島大学大学院栄養生命科学教育部	9
京都府立大学生命環境科学研究科	1
青森県立保健大学大学院	1
お茶の水女子大学大学院	2
大阪市立大学大学院	1
小 計	14
未定（進学希望）	5
未定（就職予定）	6
小 計	11
合 計	48

保 健 学 科：看 護 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学医学部・歯学部附属病院	21
愛媛大学医学部附属病院	1
旭川医科大学病院	1
横浜市立大学附属病院市民総合医療センター	1
岡山医療センター	1
岡山大学医学部・歯学部附属病院	3
京都大学医学部附属病院	1
京都府立大学病院	1
香川大学医学部附属病院	3
香川労災病院	1
高松赤十字病院	1
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	1
神戸市民中央医療センター	1
神戸大学医学部附属病院	3
聖隷浜松病院	1
西神戸医療センター	3
川崎病院	1
相澤病院	1
大阪市立大学附属病院	1
大阪赤十字病院	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪労災病院	1
島根県立中央病院	1
徳島赤十字病院	2
奈良天理よろず 병원	1
福岡赤十字病院	1
兵庫県立西宮病院	1
北野病院	2
名古屋第一赤十字病院	2
愛媛県伊方町職員	1
高槻市職員	1
神戸市職員	1
小 計	63
進学（徳島大学助産学専攻科）	3
進学（熊本大学養護教諭特別科）	1
進学（大阪大学大学院）	1
進学（徳島大学大学院保健科学教育部）	1
未定	4
小 計	10
合 計	73

保 健 学 科：放 射 線 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学医学部・歯学部附属病院	3
J A 広島総合病院	1
愛媛大学医学部附属病院	2
回生病院	1
関西医科大学病院	2
倉敷中央病院	2
群馬大学医学部附属病院	1
高知大学医学部附属病院	1
堺市職員	1
静岡県立がんセンター	1
社会保険栗林病院	1
昭和大学病院	1
徳島赤十字病院	2
日赤和歌山医療センター	1
星丘厚生年金病院	1
小 計	21
進学（徳島大学大学院保健科学教育部）	7
未定	11
小 計	18
合 計	39

保 健 学 科：検 査 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学医学部・歯学部附属病院	1
高松赤十字病院	1
高知県民病院	1
国立病院機構近畿ブロック 大阪医療センター	1
国立病院機構中国四国ブロック機関内病院	1
財団法人 近畿健康管理センター	1
住友金属鉱山（株）住友別子病院	1
徳島赤十字病院	1
独立行政法人 香川労災病院	1
小 計	9
進学（徳島大学大学院保健科学教育部）	2
未定	7
小 計	9
合 計	18

新任教職員あいさつ



地域医療学分野 教授 谷 憲治

平成19年10月1日付にて徳島県の委託事業による受託講座として開講した地域医療学分野に教授として就任いたしました谷憲治です。これまで本学において内科医として取り組んできた経験を生かし、今後は徳島県内の地域医療問題を研究テーマとし、大学人として地域医療レベルの向上に取り組んでいく所存です。また、平成20年から医学生に対する地域医療学および総合診療学に関する講義とへき地を含む地域での診療参加型臨床実習が開始されます。地域医療に関する正しい知識を持ち、将来地域医療に貢献できる情熱と能力を備え全人的な医療のできる医師が育つよう努力していきたいと思っております。皆様にはなお一層のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



糖尿病対策センター 教授 船木 真理

平成19年10月1日に徳島大学医学部・歯学部附属病院に開設されました、糖尿病対策センター教授に就任いたしました船木真理です。徳島県では高い糖尿病死亡率が続いております。その原因を究明し、解決策を検討、さらに世界的な問題である糖尿病対策につき広く情報発信することを目的として、徳島県の支援により設立されました。県民を対象とした疫学調査から得られた結果を実験系で確認し、臨床の場に反映させることができれば、と考えております。小所帯のセンターとしてできることには限界があるため、様々な専門分野の先生方との共同研究により事業を進めてゆく所存です。どうぞご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



消化器内科学分野 教授 高山 哲治

平成19年12月1日付けで、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部臓器病態治療医学分野（消化器内科学分野）に着任致しました。私は北海道の札幌から参りましたので、徳島県で雪の無い冬を初めて経験し、この暖かさに驚いております。私の専門は、消化器癌の内視鏡診断、治療および癌の化学療法です。消化器癌の初期病変を内視鏡により診断し、早期癌であれば積極的に内視鏡的切除を行いたいと考えております。また、手術不能進行癌と診断すれば、分子標的治療薬を含む最新の化学療法を行いたいと考えております。私は、内視鏡センター長も併任し、消化器疾患、特に癌の診断・治療、さらには研究の領域で微力ながら全力を尽くす所存ですので、これからもご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



保健学科看護学専攻 教授 谷岡 哲也

私は、高知県立芸陽病院で11年間看護師として働いた後、川崎医療福祉大学保健看護学科講師を経て、平成14年の保健学科開設時に助教授として採用され、平成19年10月1日より保健学科看護学専攻基礎看護学講座の教授を拝命致しました。

これまで研究面では、病院組織を作るためのチームケアの研究やクリニカルパスを用いた精神科領域の看護管理に関する研究を行ってきました。今後も病院に入院された患者様が一日も早く、より良い健康状態で退院できるように、また障害が残った場合には地域で継続的にセルフケアができるように患者様や障害者の方々、そしてそのご家族のお役に立つ研究を行っていきたくと思っています。教育面では、知識と技術そして人間性の優れた専門職者や研究者の育成に尽力したいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくようお願い申し上げます。

退職・転出者あいさつ



法医学分野 教授 久保 真一

この度、福岡大学医学部法医学教室教授として転出することになりました。平成9年1月に着任し、徳島大学での在職期間は11年3ヵ月となります。この間、学生委員長を4年、医学部長補佐（組織・運営担当）を4年勤めさせて頂きました。学生委員長としては、教務委員長とともにチュートリアル教育の導入にともなうカリキュラムの見直し、進級に係わる学則の見直しを行いました。医学部長補佐としましては、法人化にともなう各種制度の見直し、医学科研究棟の改修を担当しました。思い出深い徳島を離れるのは寂しさを覚えますが、今後、徳島大学の益々の発展を祈念しております。長年、有難うございました。



保健学科放射線技術科学専攻 教授 竹川 佳宏

昭和43年3月本学医学部卒業後、1年のインターンを経て放射線医学教室（河村文夫教授）に入局しました。ちょうど青医連運動の真ただ中の時代。顧みれば、東京女子医大、放射線医学総合研究所、国立がんセンター等の研修後、放射線治療を専門としての40年間でした。

他方、西洋医学に漢方治療を導入したのが昭和54年頃で、癌治療の副作用対策として各種BRMの開発の一つとしてスタートしました。当時徳島大学では、漢方は今日程理解されておらず、産婦人科（青野敏博教授）と麻酔科（齋藤隆雄教授）のみで僅かに処方されていたと記憶しています。その後多くの臨床経験を経て、東洋医学の教育までに進みました。平成4年より放射線医学の中で漢方の紹介を続けてまいりました。14年度には「東洋医学入門」を一部開講、15年には香川大学から薬理学の中で漢方教育の依頼を受けました。18年からは系統的な講義がスタートし、本学部に於ける漢方教育も充実してきました。更に、19年4月には学生が自主的に漢方勉強会を立ち上げ、我々も出来るかぎり協力して共に勉強しています。

今後は、漢方主体で地域医療に貢献出来ればと考えています。最後になりましたが、40年間のご支援、ご協力に対して心より感謝申し上げます。退職の挨拶と致します。

新任准教授紹介

異動年月日	異動内容	氏名	所属
19. 11. 1	昇任	西岡安彦	分子制御内科学
20. 1. 1	昇任	奥村裕司	生体栄養学
20. 1. 1	昇任	橋本一郎	形成外科学

◆◆◆ 受賞者紹介 ◆◆◆

中 田 賞



医学科 6年 野上 浩子

この度は名誉ある中田賞を頂き、心より御礼申し上げます。このような賞をいただきましたのも素晴らしい先生方や友人と出会えたためと深く感謝しております。今後も初心を忘れず日々努力し、精進してまいりたいと思います。

●保健学科●

看護学専攻賞

第3回看護学専攻卒業生(平成20年3月卒業) 花岡 久美



この度は、看護学専攻賞という名誉ある賞を頂くことができ、心より御礼申し上げます。

大学生活を支えて下さいました先生方や友人、家族に大変感謝しております。この受賞を更なる励みとし、目標に向かって日々努力していききたいと思います。

す だ ち 賞

第3回検査技術科学専攻卒業生(平成20年3月卒業)

森 ゆかり



この度はすだち賞という名誉ある賞を頂くことになり、心から感謝申し上げます。この賞に恥じないよう、信頼される医療人を目指し、日々成長していこうと思います。

医学部優秀教育賞

医学優秀教育賞：宇野 昌明(脳神経外科学 准教授)
 栄養学優秀教育賞：山西倫太郎(食品機能学 准教授)
 保健学優秀教育賞：竹林 佳子(助産学専攻科 助教)
 *医学科、栄養学科、保健学科の教育及び学生指導に貢献した人を表彰する賞です。

Best Teacher of the Year 2007 賞

医 学 科：馬 寧 (機能解剖学 准教授)
 粟飯原賢一 (生体情報内科学 講師)
 坂田ひろみ (機能解剖学 講師)
 栄養学科：伊勢岡義充 (国際公衆栄養学 講師)
 保健学科：今井 芳枝 (成人・高齢者看護学 助教)
 * Best Teacher of the Year 賞は学生の投票で決まる賞です。

児 玉 賞



栄養学科 4年 小川 桃子

この度は児玉賞という名誉ある賞を頂き、心より御礼申し上げます。4年間を通じてご指導下さいました先生方をはじめ、多くの方々に変感謝しております。今後、この受賞を励みとし、自己研鑽に努めていききたいと思います。

藤 田 賞

第3回放射線技術科学専攻卒業生(平成20年3月卒業)

今津 千里



この度は藤田賞という名誉ある賞を頂くことができ、心より感謝申し上げます。大学生活4年間で学問の奥深さを感じる事が出来たのも、御指導下さいました先生方のおかげと感じております。この受賞をさらなる励みとし、今後も日々邁進してまいります。

竹 内 賞

第2回助産学専攻科修了生(平成20年3月修了)

丹下 真衣




この度、竹内賞を授与できましたこと、大変光栄に存じます。助産学専攻科では、妊娠・出産・育児期へと継続した母子の診断とケアのみならず、ライフサイクル各期にある女性とその家族への支援を学習することができました。助産師としての役割と責任を果たせるよう日々精進してまいります。

医学部優秀学生賞

医学科・4年：一瀬 良英 保健学科・2年：吉崎 恵美
 横佐古 卓 脇田 真紀
 福岡かほる 郡 奈緒美
 6年：乾 稚宏 笹本めぐみ
 医学部硬式庭球部 前田 玲奈
 医学部剣道部 4年：安藝 陽人
 徳島学生ALS 木嶋 健太
 3年：松本 繁

栄養学科・4年：中本真理子 保健学科クリーン対策委員

*各種活動等において顕著な功績があった学生又は学生団体を表彰する賞です。



徳島大学は、学校教育法第69条の3第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準」を満たしていると認定されました。(平成19年3月28日)

●認証評価機関
 独立行政法人大学評価・学位授与機構
 ●認証期間 7年間
 (平成19年4月1日～平成26年3月31日)

編集
後記

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。夢と希望に満ちあふれているものと思います。医学部長はじめ、教員、卒業生、学生のみなさんから、励ましの言葉とともに、様々なアドバイスを頂きました。これから始まる学生生活を有意義で悔いの無いものにするために、ぜひ参考にして下さい。

今年は、「先輩からの医学部紹介!」として、各学科の学生さんに蔵本キャンパスの案内をしていただきました。色々なこととお世話になる学務課、毎日の生活に欠かすことのできない大学生協や学生食堂、相談室に保健室。ぜひ活用していただければと思います。

医療費の抑制により医療を取り巻く状況は非常に厳しくなっています。地域医療の崩壊だけでなく、救急医療の崩壊、さらには基礎医学研究まで危機に陥っています。しかし、地域枠による医学科定員の増加や保健学科の充実等明るいさざしもあります。これからの医療・医学を支える新入生のみなさんに期待しています。(金山)

発行 徳島大学医学部 編集 医学部広報委員会
 広報委員 金山博臣(委員長)、福井義浩、勢井宏義、大下修造、二川 健、齋藤 憲、森口博基、宮本敏克

本誌へのご意見・ご要望は、(第1総務係:植谷)E-mail:isysoumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp まで
 お願いします。なお、写真は執筆者各位の提供により掲載しています。

Tel:088-633-9118 Fax:088-633-9028

URL <http://www.hosp.med.tokushima-u.ac.jp/university/servlet/index>